



平成26年度当初予算について

次回の当初予算案は4月の知事選挙を控え、骨格的な編成となり、政策的な新規事業は最小限にとどめたため、前年度よりやや下回る規模となっているが、安心・安全に編成したものであり、高く評価出来るものである。編成に際してもっとも意を尽くした点は何か。

答弁 山田知事

村田委員におかれましては、会派を代表されまして今回の予算案に対し、高い評価をいただき厚くお礼を申し上げます。
府民生活を守ることにつきましては、知事選挙があるからといって後回しには出来ません。本来であれば6月補正になりますので、議決いただくのは7月になってしまいます。

になり、環境アセスメントの手続きを開始したと聞かれますが、現在の進捗状況や今後の手続きのスケジュールはどうか。
(2) JR奈良線の複線化にともない踏切を含む交差道路の整備等々課題の解決が必要である。今回のJR複線化事業に関連する道路の渋滞対策や駅アクセス道路の整備に今後どのように取り組むのか。

答弁 山田知事

昨年8月に京都府と関係市町、JR西日本との間で協定書を締結しております。
本協定に基づき環境アセスメントの手続きをJR西日本が進めており、すでに5段階の手続きのうち第2段階目の『方法書』の縦覧が開始されたところであり、今後多くの手続きを踏まえながら遅くとも平成28年度には工事に着手出来るような手続きのスピードアップに全力を挙げてまいります。

道路の渋滞対策であります。府道向島宇治線の宇治街道踏切をなくすための延長280メートルの立体交差化事業を計画しており、平成26年度の事業化に向けて調整に着手いたします。
府道宇治線の第二宇治踏切については、用地買収が現在92パーセントの進捗率となっております。黄檗踏切については、府道京都宇治線の交差点が近接しており、府道が渋滞しているため平成21年度から交差点改良に着手しております。
用地買収の進捗率は約60パーセントで、順次工事等積極的に進めていきたいと考えております。

平成25年度2月補正予算および平成26年度当初予算の概要 総額9,224億9,400万円

① 防災の安心

◆防災基盤特別強化事業費320億7,700万円

② 経済・雇用の安心

[経済への対応]

◆京都版エコノミック・ガーデニング推進事業費 884億円6,000万円

◆伝統産業生産基盤支援事業費2,000万円

◆「海フェスタ京都」推進事業費3,000万円

◆京都舞鶴港クルーズ船旅客ターミナル整備費1億7,400万円

◆京都トレーニングセンター(仮称)整備費3億6,000万円

◆運動公園施設充実費

(山城総合運動公園、陸上競技場屋根、照明、クラブハウス等) ..3億9,600万円

◆「宇治茶さらめぎ街道(仮称)」プロジェクト推進事業費5,300万円

[雇用への対応]

◆国・府一体人づくり事業費20億1,600万円

◆処遇改善・定着支援事業費9億9,900万円

◆若者等就労環境向上推進事業費2,500万円

◆障害者雇用率2%達成総合事業費3億8,200万円

③ 暮らしの安心

[消費税影響への安心]

◆重度障害者等緊急生活支援事業費.....1億4,000万円

◆消費税対応中小企業あんしん対策事業費

(地域の元気づくり対策)3,000万円

[福祉の安心]

◆京都市地域包括ケア推進費21億1,200万円

◆後期高齢者医療特別対策事業費6億2,500万円

④ 農業の安心

◆中山間地域特産物生産応援事業費7,300万円

⑤ 学びの安心

◆高校生等奨学給付金支給事業費2億8,600万円

◆夢に応えられる府立高校づくり事業費

(福知山高校に中高一貫教育を導入、南丹高校に工業系コースを開設等)

.....2億9,000万円

宇治茶の世界文化遺産登録と茶業研究所の機能強化について

次回の諸点について伺いたい。
(1) 宇治茶の世界文化遺産登録に向けた動きが本格化して来ているが、宇治茶の世界文化遺産に係る提案書の具体的内容はどのようなものか、また提案書作成後はどのような取り組みを進めようとしているのか。

そうすると4、5、6、7月と4ヶ月間の空白ができることになり、これは安全に対しては大変危ないことだというように思っております。
例えば2年連続の豪雨による災害が京都府を襲っていますので、防災対策はその間も継続していかなければなりません。具体的に河川改修事業の前倒しをはじめとする治水対策ですとか、府立高校、防災拠点の耐震化の強化等があります。
経済対策では中小企業を下支えるための固定費の削減とか、金融支援、さらに国・府一体で人づくりに取り組み、4年間で正規雇用3万人を創出する事業等を盛り込んでいくところであります。
公共事業につきましても継続的に必要な社会基盤を整備してまいります。
消費税率引き上げ対策として、重度障害者等への介護関連用品の購入支援を行います。
中小企業等の販売促進、伝統産業の販売促進の取り組み等の新たな融資制度の創設を加え、地域経済にも配慮しているところであります。
そして子供たちが安心して学べる給付型の奨学金の創設を国に依頼しています。
この予算を通じて府民の安心を確立していきたいと考えております。

答弁 山田知事

宇治茶はまさに日本のお茶を何世紀にもわたってリードして来たトップブランドであり、日本の宝、世界の宝だと思っております。「日本茶のふるさと宇治茶生産の景観」をコンセプトに7市町村の共同の提案書としてとりまとめたいただきました。世界文化遺産の登録には非常に長い年月を要します。文化庁に提案書により出来るだけ早く要請していきたいと思っております。

茶業研究所は88年の歴史を有しており、確かに老朽化が大きな課題となっております。

外部有識者や茶業関係者等で『機能強化委員会』を設置し、(1)企業・大学等との連携によりビジネスにつながる新たな研究開発、(2)伝統的な宇治茶生産の栽培方法や製茶工程を体験出来る場づくり、(3)経営力が高く自らが宇治茶の良さを発信出来る人材育成の3本を柱に具体的な内容を検討し、本年度中に機能強化の方向性を定めたいと考えております。

JR奈良線の複線化について

次回の諸点について伺いたい。
(1) 昨年夏にようやくJR西日本、本府、沿線市町との協議が整い第2期事業に着手すること

宇治川左岸府道向島宇治線堤防道路改良工事来年度に着手決定

宇治公民館前踏切撤去JR奈良線と立体交差に。総事業費約20億円、完成予定は2019年度。

宇治川左岸に立つ宇治公民館前(宇治市宇治里尻)の堤防道路・府道向島宇治線の改良工事に来年度着手し、JR奈良線の複線化・第2期事業に伴い、府道との交差点にある宇治街道踏切の遮断時間が長くなることから、交通の円滑化を図るため宇治公民館の北側からJR奈良線をアンダーパスで通し宇治線西詰交差点に至る新しいルートが整備されます。事業延長は約280メートルで、道路幅は9.5メートルを確保しこの内新たに片側2.5メートルの歩道が整備されます。現府道では信号、踏切の関係で宇治線西詰を先頭に最大390メートルの渋滞が発生していましたが、この事業が完成すれば交通渋滞も大きく改善されるのはもとより、宇治への観光客の呼び込みにも期待出来ることとなります。



現在の渋滞状況

堤防道路周辺図